

Epics White Paper

v4.1.0

Dec.2024

Epics DAO



Contents

1. エグゼクティブサマリー	... 3
2. オープンソースソフトウェア開発の課題	... 5
3. 社会貢献型ブロックチェーンゲーム	... 7
4. ブロックチェーン技術によるあたらしい経済	... 9
5. トークンエコノミクス	... 10
6. ロードマップ	... 13
7. コアチーム	... 15
8. リンク集	... 16

Not a Financial Advice.
Do Your Own Research.



1. エグゼクティブサマリー



Epics は社会貢献型ブロックチェーンゲームです。より良い社会のために持続可能なオープンソフトウェア開発環境を実現させましょう。インセンティブのあるゲーミフィケーションは、よりたくさん遊ぶことでより多くの社会問題を解決するという好循環を生み出します。

2022年には全世界のソフトウェアの97%がオープンソースコードを含んでおり、90%の企業がオープンソースソフトウェアをビジネスに活用しています (2022 Synopsys: OSSRA, 2022 GitHub: Octoverse, The state of open source software)。オープンソースソフトウェアは誰でも自由に無料で使うことができ、世界中の開発者によって開発・改善されるため品質が高いので、オープンソースコードを組み合わせる自社ビジネスのソフトウェアを開発するのが主流となっています。

現代のイノベーションの核となっているオープンソースソフトウェアですが、その開発環境は課題を抱えています。2010年には10%だった「すべてのコードベースにおけるオープンソースソフトウェアの割合」は2022年には78% (2022 Synopsys: OSSRA)と、約

10年で8倍と急激に増加しました。それに伴ってオープンソースソフトウェアの開発及び管理コストも増え続けているにも関わらず、それらは未だに熱心な開発者によるボランティアによって無償で行われています。

この深刻なリソース不足により、多くの利用があるにも関わらず開発を中止せざるを得なかったプロジェクトが数多くあります。利用が増えるに従いバグの数も増えるため、対処しきれていない問題も多く存在し、その結果全世界のソフトウェアの「脆弱性を抱えるオープンソースコードを含む割合」は 84% にも達してしまっています。「ハイリスクな脆弱性を抱えるオープンソースコードを含む割合」は 48% です (2023 Synopsys: OSSRA)。増えた開発コストを無視した結果、残念ながら約半数のソフトウェアが危険に晒されてしまっているというのが現状です。

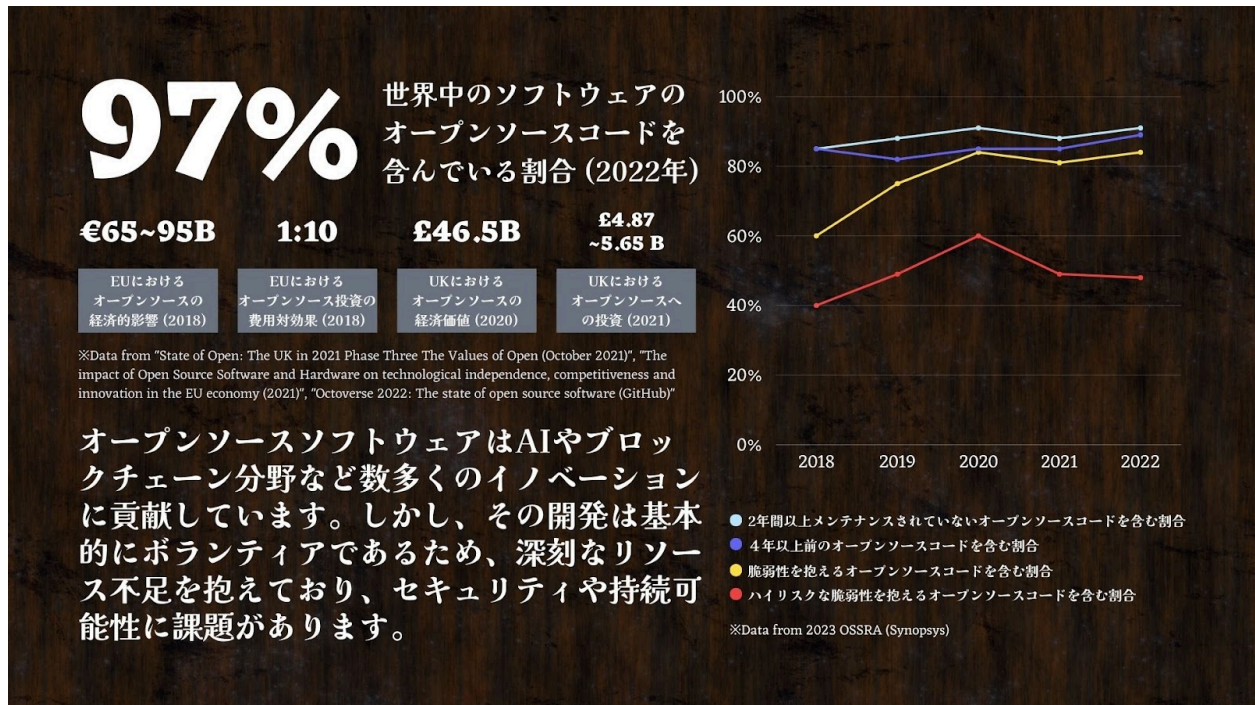
一方で、オープンソースソフトウェアに対する投資の費用対効果は高いです。欧州委員会は2021年にオープンソースの経済的影響を初めて調査し論文を発表しましたが、そこでは2018年EUのGDPへの累積ベースの貢献で 1:10 という高い成果が報告されています (2021 European Commission: The impact of Open Source Software and Hardware on technological independence, competitiveness and innovation in the EU economy)。

オープンソースへの積極的な投資を増やすことは社会的に重要なミッションです。Epics DAOは社会貢献型ブロックチェーンゲームを開発・運用することでこのミッションを遂行します。

オープンソースソフトウェア開発には大きく分けて3つの足りないリソースがあります。開発リソースと資金、そしてこの問題に対する認知です。EpicsのプレイヤーはDev(開発)、Investor(投資家)、Degen(広報活動家)という3つのジョブから一つを選び、それぞれ対応する行動を取る(開発・投資・PR)ことで多くのポイントを獲得できます。

このゲームでは実世界のオープンソースソフトウェア開発に対する貢献に対してポイントが付与され、それに応じてステータスが上昇するため、強力なプレイヤーはその分オープンソースに貢献していることがわかります。つまり、Epicsのステータスが社会貢献度を表すようになり、その貢献度が報酬につながる設計になっています。プレイヤーたちがそれぞれのインセンティブを求めて行動、ゲームを楽しんでプレイすることで社会問題を解決していくという好循環なコミュニティエコシステムを構築します。

2. オープンソースソフトウェア開発の課題



世界中でインターネットを支えるWebサーバーのほとんどに使われているLinux系のOSからはじまり、C言語やJava、Ruby等多くのプログラミング言語、WordPress等のアプリケーション周辺技術、bitcoinやethereum等のブロックチェーン技術まで、様々なオープンソースソフトウェアプロジェクトが存在しています。

今日ではオープンソースソフトウェアはイノベーションの源泉となっており、日々重要性を増しています。2022の「世界中のソフトウェアのオープンソースコードを含んでいる割合」は97%で (2022 Synopsys: OSSRA)、90%の企業がオープンソースをビジネスに活用しています (2022 GitHub: Octoverse The state of open source software)。オープンソースソフトウェアは誰でも自由に無料で使うことができ、世界中の開発者によって開発・改善されるため品質が高いので、オープンソースコードを組み合わせる自社ビジネスのソフトウェアを開発するのが主流となっています。

2010年には10%だった「すべてのコードベースにおけるオープンソースソフトウェアの割合」は2022年には78% (2022 Synopsys: OSSRA) になり、約10年で8倍とその採用は急激に広まりました。

しかし、オープンソースソフトウェアの普及に伴い開発及び管理コストも同じく増え続けているにも関わらず、それらは未だに熱心な開発者によるボランティアによって無償で行われています。毎日増え続ける問題の対処には膨大なコストがかかりますが、報酬はありません。そのような環境の中で、世界中で利用される重要なオープンソースソフトウェアの開発者でさえも生活に困窮してしまったり、その貧困を避けるために多くの人々にとって重要なソフトウェアの更新が止まってしまったり等、深刻なリソース不足が問題となっています。イノベーションや商品開発のために世界中から使われるソフトウェアを開発、メンテナンスするために多大なる貢献をしている人々が、その開発作業、メンテナンス作業をするがために貧困しているというのは大きな問題です。

このようなリソース不足の状況から、開発者は効率を上げつつ自身のフリータイムを捧げ頑張っているにも関わらず、OSSの脆弱性は未だ高い割合で存在しており、多くの利用があるにも関わらず開発が止まってしまうライブラリが増え続けてしまっています。

2023年Synopsys のOSSRAというレポートによると、2022年の時点で商用含むソフトウェアが「2年間以上メンテナンスされていないオープンソースコードを含む割合」は91%ですが、レポートにも描かれている通り、一般的には”機能のアップグレード、コードの改善、またはセキュリティの修復活動が24ヶ月間発生しない場合、プロジェクトは全く維持されていない可能性がある”とされています。

実際に48%という約半数のソフトウェアがハイリスクなセキュリティ脆弱性を抱えるオープンソースコードを含んでいることも報告されており、開発コストの増加を無視した結果、世界中のソフトウェアが危険に晒されてしまっています。

一方で、オープンソースソフトウェアに対する投資の費用対効果は高いという研究結果が出ています。欧州委員会は2021年にオープンソースの経済的影響を初めて調査し論文を発表しましたが、そこでは2018年EUのGDPへの累積ベースの貢献で 1:10 という非常

に高い成果が報告されています (2021 European Commission: The impact of Open Source Software and Hardware on technological independence, competitiveness and innovation in the EU economy)。まだ規模は小さいながらも行われているオープンソースソフトウェア開発への投資及び寄附は、社会の発展に大きく貢献しています。

前述の通り、オープンソースソフトウェアの利用は急速に広がり、現在では全企業のおよそ90%がオープンソースをビジネスに活用しています (2022 GitHub: Octoverse, The state of open source software)。オープンソースソフトウェアは公共財としての役割を果たしており、その価値は計り知れません。実際に近年EUやUKの政府機関がオープンソースソフトウェアは経済的に価値が高く、投資費用対効果も非常に高いことを次々と報告しており、社会全体に大きな利益をもたらしていることが確認されています。

オープンソースソフトウェア開発への積極的な投資を増やすことは、社会的に重要なミッションです。

3. 社会貢献型ブロックチェーンゲーム



プレイヤーはそれぞれのジョブを選びます。

オープンソースの課題解決のために必要な3つのジョブ



Dev: 開発者
得意行動:

- GitHub イシュー(バグなどの問題)の解決
- 未知の脆弱性を発見



ジョブとして Dev を選択した場合、これらの得意行動によって獲得する Dev コインが 20% 増量します。



Investor: 投資家
得意行動:

- プロジェクトコロボNFTカードパックの購入
- オープンソースプロジェクトにNFTをステーキング



ジョブとして Investor を選択した場合、これらの得意行動によって獲得する Investor コインが 20% 増量します。



Degen: 広報活動家
得意行動:

- SNSでの情報発信や現地イベントの開催
- NFTカードゲームの大会やリーグ戦参加

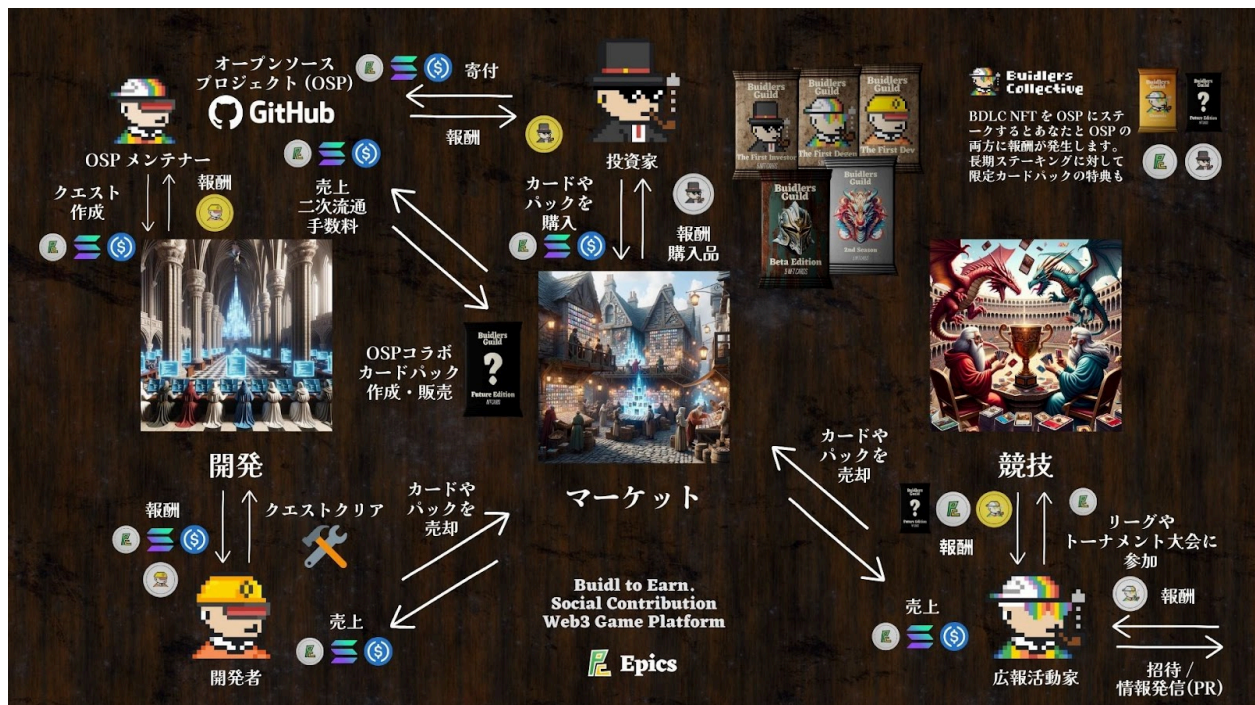


ジョブとして Degen を選択した場合、これらの得意行動によって獲得する Degen コインが 20% 増量します。

オープンソースソフトウェア開発には大きく3つの足りないものがあります。開発リソースと資金、そしてこの問題に対する認知です。

Epicsゲームのプレイヤーは、はじめにDev、Investor、Degenという3つのJobから一つを選びます。Devは開発者として実際にGitHub上にあるオープンソースの 이슈(問題)を解決することやバグバウンティで多くのコインを獲得できます。Investorはオープンソースプロジェクトへの投資、そしてDegenはこのオープンソース開発のリソース不足という社会問題と、それを解決するEpicsというプラットフォームについて世に広めることで多くのコインを得ることができます。

このように3つのジョブはオープンソース開発が必要としている3大要素である開発リソース及び資金、そして認知の問題に対応する役割を持っています。



Epics プラットフォームでは、新たな方法で開発、資金、そして PR というプロジェクトにとって重要な3つのリソースに適切なインセンティブを与えます。このプラットフォームは、開発者、投資家、広報活動家など、異なる役割を持つコミュニティメンバー間のコラボレーションを促進します。その目的は、オープンソースソフトウェア開発のサポートを強化し、持続可能な開発とグローバルなソフトウェアセキュリティ、そしてさらなる品質の向上を実現することです。

Epics プラットフォーム上ではオープンソースへの貢献に対して、NFTカードゲーム「Buidlers Guild」で利用できるカードパックを入手することができます。開発・投資・広報それぞれの仕事によって手に入るカードの種類が異なるため、それぞれの仕事のクリアをみんながサポートする状況が生まれます。カードゲームを遊ばないユーザーも、カードゲームプレイヤーからの需要があるカードパックの入手には価値があり、実際に価値の高いカードが当たればマーケットにて良い取引が可能になるため、どのポジションでも楽しめるプラットフォームを構築できます。

4. ブロックチェーン技術によるあたらしい経済



ブロックチェーンを活用することで、これまで実現できなかった環境を構築することができるようになりました。中間業者の省略や、時には煩雑な国際送金が絡む送受金の管理など、多くのコストを削減しながらも、トークンエコノミーを通じて利益をコミュニティへ還元することが可能です。

コミュニティやプラットフォームへの貢献者に、その貢献度による正しい報酬が渡ることによって、より健全な形でコミュニティやプラットフォームを運営することが可能になり、多くの社会課題を解決する可能性があります。

Epicsの場合はオープンソースソフトウェア開発の深刻なリソース不足という実社会の問題に紐づいたゲームプラットフォームを開発することで、開発者・投資家・広報活動家どの立場にもインセンティブがあり、それぞれが楽しさとインセンティブを求め実際に行動することでその社会問題が解決されていきます。

このようなブロックチェーンとゲーミフィケーションとの組み合わせによる「あたらしい経済」は今までに解決できなかった問題を解決すると信じています。

5. トークンエコノミクス



トークン名	Epics Token
種類	ユーティリティトークン
Ticker	EPCT
総供給量	1,000,000,000 (最大バーン後: 100,000,000)
トークンアドレス	CvB1ztJvpYQPvdPBePtRzjL4aQidjydtUz61NWgcgQtP

プラットフォーム上にて、オープンソースプロジェクトへの投資及び寄附、GitHub イシューに対する懸賞金やバグバウンティ、ゲーム内での利用が可能です。Epics プラットフォームではUSDCやSOL等のトークンも利用(手数料8%)できますが、EPCTは低

い手数料(3%)で利用可能というメリットがあります。プラットフォーム手数料として Epics DAOに送られる分の33%は、総供給量が100,000,000になるまでバーン(焼却)されます。最大バーン後は、この分をEpics リーグの報酬に充当します。プラットフォーム手数料残り67%のうち80%はEpics Treasuryへ、20%はEpics DAOの保険金 Treasuryへ送金されます。

トークンアロケーション

ジェネシスプリセール : 5%

20% at GENESISプリセール, 60 ヶ月に渡る毎月の線形ベスティングと6ヶ月のクリフ

プリセール for IDO : 2%

20% at プリセール for IDO, 60 ヶ月に渡る毎月の線形ベスティングと2ヶ月のクリフ

シードエクステンションラウンド 資金調達 : 2%

0% at シードエクステンションラウンド資金調達, 48ヶ月に渡る毎月の線形ベスティングと3ヶ月のクリフ

Grants for オープンソースプロジェクト : 4%

100% at Grants for オープンソースプロジェクト(Grantsには審査有, 対象は随時発表)

コアチーム : 10%

80% at TGE, 60 ヶ月に渡る毎月の線形ベスティングと6ヶ月のクリフ

プロジェクト貢献者 : 4%

64ヶ月に渡る毎月の線形ベスティングと2ヶ月のクリフベスティング

流動性ファンド : 10%

10% at TGE, 64ヶ月に渡る毎月の線形ベスティングと2ヶ月のクリフ

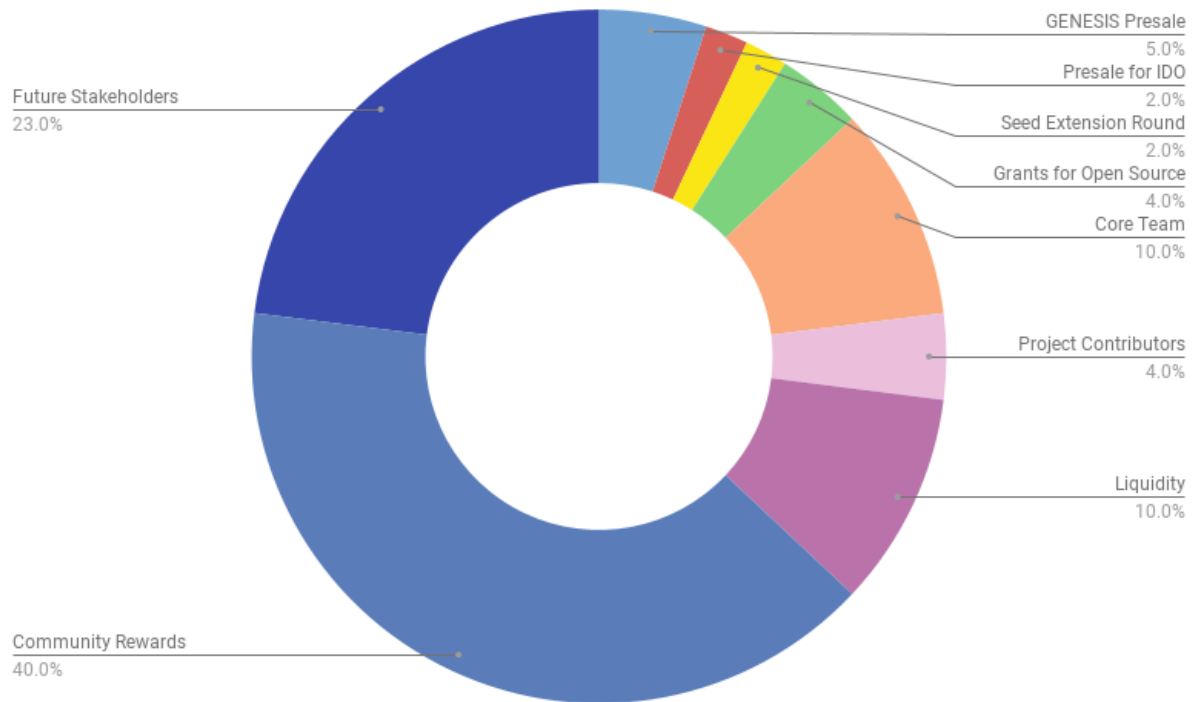
コミュニティ報酬 : 40%

63 ヶ月に渡る毎月の線形ベスティングと3ヶ月のクリフ

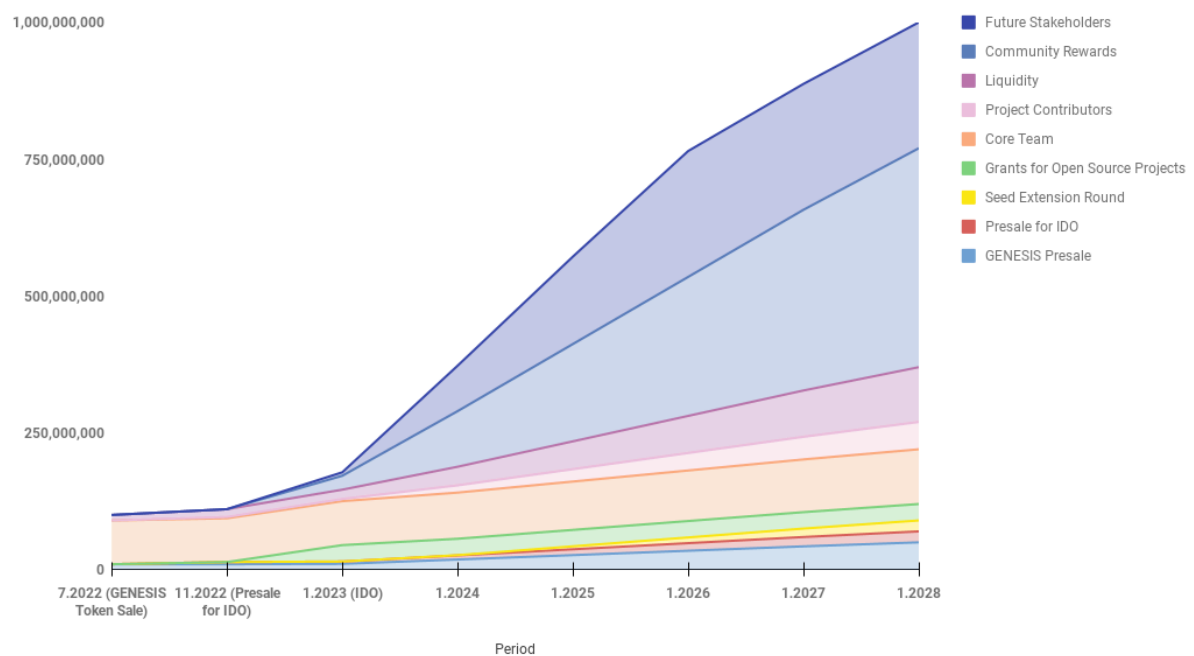
未来のステークホルダー : 23%

36 ヶ月に渡る毎月の線形ベスティングと6ヶ月のクリフ





EPCT Token Economics



ガバナンス

DAOの方向性やEpics Treasuryの予算等に関わる重要な決定はすべてオンライン投票を介して行われます。1EPCDは1,000EPCTと交換で入手でき、投票は1EPCDを1票として行われます。オープンなガバナンス形成のため、1EPCDを所持していれば誰でもプロポーザルを提案することができます。URL: <https://app.realms.today/dao/EPCT>

※EPCDは2026年2月のEPCT-EPCD専用交換所ローンチ後に一般リリースされます。



トークン名	Epics DAO Token
種類	ガバナンスユーティリティトークン
Ticker	EPCD
総供給量	30,000
トークンアドレス	6TTYS8E8ziSkyPZ7NHZhUe6vr8qXRBf8RKLUBXxmpBVW

6. ロードマップ

2022.6 Epics ライトペーパー, TGE(トークンジェネレートイベント)

2022.8 Epics ホワイトペーパー v1

2022.9 Epics Alpha ローンチ, Solana Summer Camp ハッカソン5位入賞

2022.10 オランダ政府よりWBSO(先端研究開発プロジェクト)認定

2022.11 GitHub issues データオラクル連携開発 (with DIA)

2023.1 IDO \$EPCT on Orca (Solana DEX)



- 2023.4** Epics DAO が Solana のテストネットバリデーターに
- 2023.12** Epics プラットフォーム Beta ローンチ
- 2024.2** \$EPCT が Meteora (Solana DEX) に上場
- 2024.4** NFT カードデザイン発表、ニコニコ超会議 2024 出展, ENASE 2024 研究発表
- 2024.5** Epics DAOがSolanaのメインネットバリデーターに
- 2024.8** Web X 2024 出展
- 2025.4** Solana 特化型グローバルエッジデータセンター開設スタート
- 2025.6** NFTカードゲーム Alpha パック カードリスト公開
- 2025.8** NFT カードパック 「開封の儀」
- 2025.10** NFTカードゲーム β テスト開始
- 2025.12** バグバウンティプラットフォームローンチ
- 2026.2** \$EPCD交換所ローンチ
- 2026.6** Epicsプラットフォームメジャーリリース、NFTカードゲーム一般公開開始
- 2027.4** IEO \$EPCT

7. コアチーム

元々は2012年日本にてソフトウェア開発会社を創業、日本国内のアメリカ政府関連機関などを顧客にクラウドアプリの開発運用事業を行っていました。

2020年春のカリフォルニア開発合宿にて、ブロックチェーン技術Solanaのスピードに感銘を受け即研究開発を開始。2020年秋よりオランダ・アムステルダムにブロックチェーン技術に関するソフトウェア研究所、ELSOUL LABO B.V.を設立。

Solanaを中心にブロックチェーン技術について研究開発を行っており、Solanaチェーンのバリデーターとしてノード運用をしていたり、Solana LabsのGitHub リポジトリへコミッターとして貢献しています。

川崎文武

Co-founder



ソフトウェア研究者。バックエンドからクラウドインフラ、スマートコントラクト開発に強く、開発作業の高効率化も得意で、多くのツールを発明してきました。開発現場の課題を解決するため開発したサーバーレスフレームワーク「SOULs」はオランダ政府より先進研究開発プロジェクト (WBSO) として認定されています。

岸 正太

Co-founder



ソフトウェア研究者。フロントエンド開発に強みを持ち、人間中心設計によりユーザーフレンドリーなUXのマルチプラットフォームアプリを開発できます。バックエンドからクラウドインフラ、スマートコントラクト開発にも参加しているため、全体のバランスを考えながらアプリを設計開発できます。Solana LabsのContributorです。

James Neve

Technical Advisor



AI研究者。機械学習の博士号(PhD)を取得しており、これまでに8本の学術論文を公開しています。バックエンドからフロントエンド、機械学習まで幅広く、そして深く網羅された知識を持ち、チームの抱える難題を解決できます。多面的なアプローチでプロダクトの品質を最大限に高めることができます。

8. リンク集

Epics DAO 公式サイト	https://epics.dev/
Epics プラットフォーム	https://app.epics.dev/
CoinGecko (\$EPCT)	https://www.coingecko.com/ja/コイン/epics-token
Epics DAO ガバナンス	https://app.realms.today/dao/EPCT
Epics DAO コミュニティ Discord	https://discord.gg/GmHYfyRamx
Buidlers Collective (BDLC) NFT 公式サイト	https://buidlers.epics.dev/
BDLC NFT マーケット (Open Sea)	https://opensea.io/collection/buidlersc/
BDLC NFT マーケット (Magic Eden)	https://magiceden.io/marketplace/buidlersc
Epics Token (\$EPCT)	https://explorer.solana.com/address/CvB1ztJvpYQPvdPBePtRzjL4aQidjydtUz61NWgcgQtP
Epics DAO Token (\$EPCD)	https://explorer.solana.com/address/6TTYs8E8ziSkyPZ7NHZhUe6vr8qXRBf8RKLUBXxmpBVW
Epics DAO Twitter	https://twitter.com/EpicsDAO2
Buidlers Collective Twitter	https://twitter.com/BuidlersC2

最後までお読みいただきありがとうございました。
ぜひ私達の活動にご興味を持っていただける方は、
Epics Discord コミュニティにご参加ください。
これからも応援いただけると大変嬉しいです。
今後ともよろしくお願いいたします。

